川崎支部　第４回　講演会

**２０１9年12月21日（土）１4：００～１5：3０**「日常生活動作を支援する機器の開発　～インクルーシブ（包括的）な社会を目指して～」

講師：東京都市大学工学部医用工学科教授　和多田雅哉

東京都市大学 工学部 医用工学科 臨床器械工学研究室では、機械および電子（電

気）を使用した一歩先の技術を創り上げ、患者、高齢者や障がいを持つ人々への

サポートを目的とした研究を行っています。具体的には，「手術用ロボット」や

「人工臓器」などの医療技術，「車いす」や「杖，歩行器」等の生活支援機器の研

究です。

ａ。生活支援機器では，国際生活機能分類（International　Classification

 of Functioning, Disability and Health, 略してICF）に基づいて日常生

活動作の支援機器開発です。国際生活機能分類とは2001年５月、世界保健機関

（ＷＨＯ）総会で採択され、障がい・健康に関する分類で「健康状態」「心身機

能・構造」「活動」「参加」「環境因子」「個人因子」の関係とその影響をまとめた

ものです。

B。健常者やそうでない人（高齢者や障がいを持つ人々）の区別をしないで、現在生

活している人々の誰もが分け隔てなく，普通に移動したい時に移動でき、使いた

い時に使うことができる環境をつくることで、インクルーシブル（包括的）な社

会の実現が可能になります。そして，これまで社会の中で不利な状況に置かれて

いた人々の個々の活動や社会参加を促すことができ，QOL（生活の質）の向上が

望めます。

C。今回の講演は，現在進めている研究の中から「日常生活動作の支援機器の開発」　に関して，「移動支援分野」の開発事例「片手こぎパワーアシスト車いす」「車いすと連結できるパーソナル電動モビリティ」をご紹介します。

会 場 ：東京都市大学　二子玉川夢ｷｬﾝﾊﾟｽ（ライズビル8階）

 参加費 ：無料　お茶をご用意

対　象 ：どなたでも【当日の参加も大歓迎】

主　催 ：東京都市大学 校友会　川崎支部

連絡先 ：川崎支部　山岸(080-9353-4253)（窓口）